

目次

法文化学会第5回研究大会・総会を終えて.....	1
法文化学会第6回研究大会について.....	2
叢書『法文化 歴史・比較・情報』.....	3
叢書第2巻『市場の法文化』の刊行について.....	3
叢書第3巻の編集について.....	3
叢書第4巻の発刊について.....	3
叢書第5巻の企画募集について.....	3
叢書第4巻『法と身体』(仮題)原稿募集のご案内.....	3
シンポジウム(法文化学会共催)のご案内.....	4
事務局からのお知らせ.....	4
2001年度会計報告.....	4
年会費納入のお願い.....	4
入会の申込について.....	4
法文化学会入会申込書.....	5

法文化学会第5回研究大会・総会を終えて

法文化学会事務局 岩谷十郎(慶應義塾大学)

2002年11月16日(土)、法文化学会第5回研究大会が、慶應義塾大学(三田キャンパス)にて開催されました。

当日は、午前10時30分から、王雲海会員(一橋大学法学研究科助教授)・森田成満会員司会による「現代中国における租税文化と租税犯罪」が報告され、午前11時30分から、今回の学会開催担当校として森征一理事長の挨拶と、同理事長司会の下に総会が開かれました。

午後の報告は、昼食時間をはさんで、1時30分から再開。吉村典久氏(慶應義塾大学法学部助教授)・高橋文彦会員司会による「家族課税のあり方 所得税法における課税単位をめぐって」、鈴木直志氏(桐蔭横浜大学法学部助教授)・屋敷二郎会員司会による「『戦争が戦争を養う』 軍税と近世ヨーロッパ」が順次報告され、休憩の後、午後4時過ぎから、佐々木有司会員(日本大学法学部教授)・山内進会員司会による「ディエ

ゴ・デ・コバルピアス ヨーロッパ法史における
一六世紀スペイン法学」の報告がありました。

今回は、計4本の報告からなる日程でありましたが、学会叢書、『法文化 - 歴史・比較・情報』第3巻で特集として取り上げた「法文化としての租税」をテーマに据え、多角的な視点からの報告と活発な意見交換が為され、盛会のうちに終わりました。

上記したように総会では、事務局から昨年度の学会活動報告、ならびに会計報告などが為され(後掲)、同時に叢書『法文化 - 歴史・比較・情報』第3巻・第4巻の編集の件(後掲)などについての提案が出され、いずれも承認されました。

夕刻は、会場キャンパス内の「ザ・カフェテリア」にて懇親会が開かれ、報告者を囲んだ和やかな雰囲気の中で歓談の時間を過ごしました。

法文化学会第6回研究大会について

第6回研究大会を以下の要領で行います。報告を希望される方は、5月末日までに、学会事務局(慶應義塾大学法学部、岩谷十郎)までご連絡ください。テーマにつきましては、叢書第4巻編集についての下記の趣旨説明をごらんください。また、自由報告も予定しておりますので、テーマ以外の題目で報告を希望される方も歓迎いたします。

なお、報告希望者多数の場合は、学会事務局と大会開催校とで相談のうえ、報告者を決めさせていただきますので、予めご承知おきください。また、今回は本学会初めての地方開催で、開催日が2日に亘り、かつ、時期が通常よりも早く設定されておりますのでご注意ください。

1. 日程: 2003年10月18日(土)午後～19日(日)午前
2. 会場: 甲府市酒折2-4-5 山梨学院大学
3. テーマ: 法と身体

事務局からのお願い ご報告をご希望される方は、法文化学会事務局まで、氏名・ご所属・連絡先・ご報告の題目(仮題でかまいません。またテーマ報告か自由報告かの別をもお知らせ下さいましたら幸いです)をご明記の上、5月末日までに以下のいずれかの要領でお送り下さい。なお、研究大会についてのお問い合わせも以下にてお受けいたしております。

・郵便: 〒108-8345

東京都港区三田2-15-45 慶應義塾大学法学部内 法文化学会

・FAX: 03-5427-1578 慶應義塾大学法学部内 法文化学会

・E-mail: juro@law.keio.ac.jp

* ご報告を希望された方には、8月下旬頃に会員連絡用のご報告要旨のご提出をお願い申し上げます。これにつきましては、後日、事務局よりご連絡させて戴きます。

叢書第2巻『市場の法文化』の刊
行について

加藤哲実会員を編集代表として進められておりました法文化学会叢書第2巻『市場の法文化』が、今年2月に国際書院から刊行されました。会員の方々のお手許にすでに届けられていることと存じます。ご執筆にご協力下さいました方々、また、編集の労をとられた加藤会員に皆様、ご苦労様でした。なお、本書刊行を記念して一橋大学で行われました座談会の記録を本号ニューズレターの別冊として同封いたします。ご参照下さい。

叢書第3巻の編集について

現在、森征一会員を编者として叢書第3巻『法文化としての租税』の編集が鋭意進められております。年度内(2003年8月末)の刊行をめざしております。皆様のご協力の程、宜しく願い申し上げます。

叢書第4巻『法と身体』(仮題)原稿募集のご案内

法文化学会叢書編集委員長 山内進(一橋大学)

よくいわれることですが、近代思想の根底には心身二元論があります。近代法もその前提のもとに構築され、近代法学もその前提を自明のこととして学説を組み立ててきました。しかし、21世紀を迎えたいま、その図式では説明も解決もできない問題がいたる分野で発生しつつあります。刑法の諸問題はもとより、国家、戦争、支配、所有、秩序、ジェンダー、家族、医療、スポーツその他の分野で、身体が重い意味を持ち始めています。というよりも、忘れられ無視されていた「身体」が再びその存在意義を示し始めた、というべきかもしれません。

これは、近視眼的な接近方法ではとうてい理解することのできない現象です。そこで、身体を法との関係の中で、歴史的・比較的、また文化的・思想的に捉え直し、すぐれて現代的な課題に根底から迫り、課題の解決に何らかの形で寄与したいと考え、本書を企画しました。上記の例示のほかにも、さまざまな分野からの接近が可能なテーマですので、会員諸氏の優れた論稿を期待します。

1. 原稿申し込み締切日: 2003年5月末日
2. 原稿提出締切日: 2004年2月末日(締切日厳守)

叢書第4巻の発刊について

叢書刊行委員会では、2003年2月3日の会合におきまして、叢書第4巻のテーマを「法と身体」とすることに決定致しました。執筆を希望される会員は、以下の趣旨説明をお読みの上、5月末日までに学会事務局(慶應義塾大学法学部、岩谷十郎)に題目(仮題で結構です)をつけたうえで、お申し込みください。なお、採否は编者とともに編集委員会が行うことになっておりますので、その点はお含みおきください。

叢書第5巻の企画募集について

第5巻のテーマを募集します。会員の意見を学会事務局までお伝えください。

3. 刊行予定: 2004年5月
 4. 原稿枚数: 200字詰め原稿用紙で100枚以内

シンポジウム（法文化学会共催）のご案内

一橋大学国際共同研究センター第5プロジェクトでは、「契約の比較法文化史的研究」をテーマに共同研究を進めており、このたび「契約の新しい形を求めて」と題するシンポジウムを開催する運びとなりました。法文化学会では、この企画の趣旨に賛同し、シンポジウムを共催することいたしましたので、会員諸氏の積極的な参加をお願いいたします。

日時・会場・報告要旨など、詳細につきましては、同封の案内状をご覧ください。

事務局からのお知らせ

2001年度会計報告

2001年度の会計(2001年9月1日～2002年8月31日)につきましては、白川和雄会員に監査をいただき、上記総会にて承認されました。

2001年度 収支

総収入	795,671
総支出	120,952
次年度繰越金	674,719

2001年度 収入内訳

年会費	288,000
繰越金	507,671
計	795,671

2001年度 支出内訳

複写費	5,154
封筒代	800
郵便料金	27,895
文具代	1,134
第4回研究大会補助	2,999
事務局アルバイト代	12,000
交通費	70,970
計	120,952

年会費納入のお願い

学会員各位におかれましては、2002年度(200

2年9月1日～2003年8月31日)の会費(5000円)の納入をお願いいたしたく存じます。

2001年度より、学会費を5000円に値上げいたしました。この年会費には、叢書『法文化 - 歴史・比較・情報』の購読料3000円が含まれております。特に、今年度は叢書第3巻の刊行も予定いたしておりますので、何卒、ご協力の程お願いいたします。

同封致しました郵便振替にてお支払い下さい。ご不明の方は事務局までご照会下さい。

郵便振替口座番号:00130-4-659540

口座名義:法文化学会

入会の申込について

ニューズレター最終頁には、法文化学会入会書式を掲載しております。入会を希望される方に複写してお渡しいただければ幸いです。入会資格者は、大学院の修士課程在籍者を含みます。必要事項を書き込まれましたら、事務局まで郵送下さい(入会には理事会の承認が必要です)。

法文化学会入会申込書

法文化学会 御中

年 月 日

私は法文化学会の規約を承認し、下記の会員の推薦をもって、貴会への入会を申込みます。

ふ り が な
氏 名

生 年 月 日 年 月 日

現 住 所 〒 Tel :

Fax :

Mail :

所属・地位

所属先住所 〒 Tel :

Fax :

Mail :

専 攻

最 終 学 歴 (卒業年次)

研 究 業 績 (主要なものを記して下さい。研究業績の無い場合には、従来の研究上の関心、今後の計画について記して下さい。)

学会よりの郵送・連絡先にどちらを希望されますか。(現住所 ・ 所属先住所)

学会名簿には、氏名・生年・現住所及びTel/Fax/Mail・所属・地位・現住所及びTel/Fax/Mail・専攻が記載されます。この内特に記載を希望されない事項のある方はお書き下さい。

()

同氏の法文化学会への入会を推薦いたします。

氏名 _____ 印